

BOCCIA & BBQ

障がい者のみなさんと交流!

ボッチャとBBQ

女性青年委員会主催「ユースフォーラム」



▲誰でも気軽に出来るスポーツ「ボッチャ」

6月23日(土)マリーナ河芸にて、福祉施設の方をお招きし、女性青年組員と合わせて総勢63名の参加のもと、ユースフォーラムを開催しました。

今回のユースフォーラムは、「人に優しく誰もが安心して暮らすには」をテーマに障がい者の方々と交流を通じて、職業人として地域で生活するインクルーシブな社会について考えること

をテーマに開催しました。

当日、8つのチームに分かれ、障がい者のみなさんと女性青年組員と一緒に、パラリンピック正式種目でもある「ボッチャ」の競技をコートを簡素化して行いました。

参加者は、競技が始まると次第に歓声や拍手が沸き起こるなど終始和やかな雰囲気の中、競技を進行しました。

また、終了後に表彰式を行い、バーベキュー交流会では、レクリエーションとビンゴゲームを行いました。



▲BBQで楽しい時間を過ごしました



▲多くの方々に参加していただきました

ボッチャ(Boccia)とは?

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

障害によりボールを投げることができなくても、勾配具(ランプ)を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加できます。競技は男女の区別なくクラスに別れて行われ、個人戦と団体戦(2対2のペア戦と3対3のチーム戦)があります。

2021年秋に三重県内で開催される「第21回全国障害者スポーツ大会(三重とこわか大会)」でも同競技が行われる予定です。



今回参加いただいた
福祉施設

「伊賀の友」

「WAJUN+」

わじゅんぷらす

「障害者ITカレッジ四日市」